

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室

HOME | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [社会システム論](#) ③

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

社会システム論 ③

システム理論の視点

このような立場から、私たちの考えの基本である民主的共同社会システムでいう「働くものの福祉を価値においた共同社会システム」とはどのような社会なのかを考えるために、次の三点を考慮する必要があります。

1. システムと環境との相互作用について、外部環境との相互作用がシステムの働きや機能にどのように影響を与えるか。
2. システムの構造をどうするのか。多くのサブ（下位）システムが重層的に構築されていくのですが、そのデザインをどうするのか。
3. システムとオペレーションの関係をどうするのか。システムの基本はコミュニケーションであり、システム理論の基本は、環境との相互作用とコミュニケーションであるが、その場合のオペレーションをどうするのか。

オートポイエーシス・システムが機能する条件

初めに構成要素が存在するのではなく、システムが作動することによって構成要素が産出され、それによってさらに再産出一循環のサイクルが実現していきます。そのためには次の条件が必要です。

1. システムの構成メンバー（要素）が多様性に富んでいる。
2. 外部環境に対して開放的で、多様な要素を取り入れることができる。
3. それぞれの構成メンバー（要素）が役割を分担し相互関係を持っている。
4. 多くのメンバー（要素）が互いに相互作用しながら、お互いに変化していく。
5. それぞれの関係は、単一ではなく多様性に富み複雑系を生み出していく。

オートポイエーシス理論とは

オートポイエーシスとは、自分自身で自分の構成要素を生み出すシステムのこと。

1. 自律的— 個がそれ自身で認知・評価・行動に必要な機能を持ち、それぞれの独自の特徴を生かし、環境変化に独自に対応し新しい秩序を形成する。
2. 個性的— 外から情報を取り入れ、自分の組織に合わせて取り込む。
3. 変化に適應— 自らの多様性に基づいて自らを変化させ、全体のシステムを変えずにその範囲内で環境に適應する。

[社会システム論④](#) ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.